

# 施工パッケージ単価計算例（参考資料）

千葉県農林水産部耕地課

本計算シートを使用した施工パッケージ単価の算出例は下記のとおり

1. 「単価名称」、「条件区分」、「単価期」及び「代表機労材規格」を入力する。
2. 施工パッケージ型積算方式標準単価表に掲載された標準単価及び機労材構成比を入力する。（必須）
3. 「東京（円）」欄に東京単価を入力する。（必須）
4. 「積算地区（円）」欄に積算地区における単価を入力する。（必須）

注1：各種補正については、計算シートの※1～※5を参照してください。

注2：表中の金額はカンマ区切りとしているため小数点以下が表示されないが下段の計算には反映される。

**本計算シートは参考資料ですので適用する積算基準に従って御利用ください。**

**施工パッケージ単価計算例**

青字で0が入力されているセルに数値を入力。補正については※1～4参照。

標準単価： 0 円

単価名称： \_\_\_\_\_  
 単価期： \_\_\_\_\_

条件区分： ① \_\_\_\_\_  
 ② \_\_\_\_\_  
 ③ \_\_\_\_\_

	代表機劣材規格	構成比(%)	東京(円)	積算地区(円)	【機械経費の補正】※1						
K	代表機械規格				K	積算地区	割増率(%)				
	K1				K1						
	K2				K2						
	K3				K3						
R	代表労務規格				R	積算地区	割増率(%)				
	R1				R1			【労務費の補正】※2			
	R2				R2						
	R3				R3						
	R4				R4						
Z	代表材料規格				Z	規格変更した材料名	標準数量	東京単価	使用数量	積算地区	支給品
	Z1				Z1						
	Z2				Z2						
	Z3				Z3						
	Z4				Z4						
S	市場単価				【材料規格の変更】※3			【材料の実数入力】※4		【支給品】※5	

- ※1, ※2) 経費の補正(豪雪割増、時間外の賃金割増等)をする場合は、補正前単価を「積算地区」欄に入力し割増した額を「積算地区(円)」欄に入力する。
- ※3) 代表材料規格以外の積算単価を算出する場合は規格変更した材料名を※3下欄にメモし材料価格を「積算地区(円)」欄に入力する。
- ※4) アスファルト混合物等、材料の実数入力がある場合は代表材料規格の標準数量に東京単価を乗じた額を「東京(円)」に、また設計の使用数量に積算地区単価を乗じた額を「積算地区(円)」に入力する。
- ※5) 材料を全て支給する場合は該当する欄に1を入力する。

P'(積算単価) = 0 ×

$$\left\{ \left( \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{0}{0 + 0 + 0} \right.$$

$$+ \left( \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{0}{0 + 0 + 0 + 0}$$

$$+ \left( \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{0}{0 + 0 + 0 + 0}$$

$$+ \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{100 - 0 - 0 - 0 - 0}{100}$$

$$- \left( \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \left. \right\} = \text{#NUM!} \text{ 積算単価 (円/単位)}$$

- ・積算単価は、有効数字4桁とし、5桁目以降を切り上げる。
- ・支給品費が控除された積算単価 = 端数整理なしの積算単価 - 端数調整なしの支給品費 であり「支給品費が控除された積算単価」は、小数点第1位を切り上げる。
- ・「支給品費」は1,000円以上の場合、円未満切捨て。1,000円未満の場合は少数位含め有効数字4桁切り捨て。ただし、少数第2位までとし、3位以下は切り捨てる。

施工パッケージ単価計算例

表と下段の式の対応状況は下記のとおり

単価名称： \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

東京単価： **P** 円

単価期： \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

条件区分： ① \_\_\_\_\_  
 ② \_\_\_\_\_  
 ③ \_\_\_\_\_

	代表機材規格	構成比(%)	東京(円)	積算地区(円)	【機械経費の補正】※1						
K	代表機械規格	Kr			K	積算地区	割増率(%)				
	K1	K1r	K1t	K1t'	K1						
	K2	K2r	K2t	K2t'	K2						
	K3	K3r	K3t	K3t'	K3						
R	代表労務規格	Rr			R	積算地区	割増率(%)				
	R1	R1r	R1t	R1t'	R1			【労務費の補正】			
	R2	R2r	R2t	R2t'	R2						
	R3	R3r	R3t	R3t'	R3						
	R4	R4r	R4t	R4t'	R4						
Z	代表材料規格	Zr			Z	規格変更した材料名	標準数量	東京単価	使用数量	積算地区	支給品
	Z1	Z1r	Z1t	Z1t'	Z1						a
	Z2	Z2r	Z2t	Z2t'	Z2						b
	Z3	Z3r	Z3t	Z3t'	Z3						c
	Z4	Z4r	Z4t	Z4t'	Z4						d
S	市場単価	Sr	St	St'	【材料規格の変更】※3			【材料の実数入力】※4		【支給品】※5	

P'(積算単価) = **P** ×

$$\left\{ \left( \frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} + \frac{K2r}{100} \times \frac{K2t'}{K2t} + \frac{K3r}{100} \times \frac{K3t'}{K3t} \right) \times \frac{Kr}{K1r + K2r + K3r} \right.$$

$$+ \left( \frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t'}{R4t} \right) \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r + R4r}$$

$$+ \left( \frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \frac{Z2r}{100} \times \frac{Z2t'}{Z2t} + \frac{Z3r}{100} \times \frac{Z3t'}{Z3t} + \frac{Z4r}{100} \times \frac{Z4t'}{Z4t} \right) \times \frac{Zr}{Z1r + Z2r + Z3r + Z4r}$$

$$+ \frac{Sr}{100} \times \frac{St'}{St} + \frac{100 - Kr - Rr - Zr - Sr}{100}$$

$$- \left( \frac{Z1r \times a}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \frac{Z2r \times b}{100} \times \frac{Z2t'}{Z2t} + \frac{Z3r \times c}{100} \times \frac{Z3t'}{Z3t} + \frac{Z4r \times d}{100} \times \frac{Z4t'}{Z4t} \right) \} = \mathbf{\#VALUE!} \text{ 積算単価 (円/単位)}$$

- ・積算単価は、有効数字4桁とし、5桁目以降を切り上げる。
- ・支給品費が控除された積算単価 = 端数整理なしの積算単価 - 端数調整なしの支給品費 であり「支給品費が控除された積算単価」は、小数点第1位を切り上げる。
- ・「支給品費」は1,000円以上の場合、円未満切捨て。1,000円未満の場合は少数位を含め有効数字4桁切り捨て。ただし、少数第2位までとし、3位以下は切り捨てる。

施工パッケージ単価計算例

①地域及び時期の違いによる補正の計算例

青字で0が入力されているセルに数値を入力。

力。補正については※1～4参照。

標準単価： 1661.5 円

単価名称： 表層（車道・路肩部）舗装

1m当たり単価表

単価期：

条件区分： ① 平均厚さ：45～55mm 平均幅員：1.4m以上

② 材料：蜜粒度As20

③ 瀝青材料種類：タックコートPK-4

代表機劣材規格		構成比(%)	東京(円)	積算地区(円)	【機械経費の補正】※1		【材料の実数入力】※4					
K	代表機械規格	3.34			K	積算地区	割増率(%)					
	K1	1.81	40,100	41,100	K1							
	K2	0.50	11,000	11,400	K2							
	K3	0.50	11,900	12,400	K3							
R	代表労務規格	8.33			R	積算地区	割増率(%)					
	R1	3.01	19,200	18,700	R1							
	R2	1.72	22,000	22,200	R2							
	R3	1.67	21,600	22,100	R3							
	R4	0.60	23,300	22,400	R4							
Z	代表材料規格	88.33			Z	規格変更した材料名	標準数量	東京単価	使用数量	積算地区	支給品	
	Z1	85.57	11,300	11,500	Z1							
	Z2	2.35	91	91	Z2							
	Z3	0.35	107	87	Z3							
	Z4	0.00	0	0	Z4							
S	市場単価	0.00	0	0	【材料規格の変更】※3		【材料の実数入力】※4			【支給品】※5		

※1,※2) 経費の補正(豪雪割増、時間外の賃金割増等)をする場合は、補正前単価を「積算地区」欄に入力し割増した額を「積算地区(円)」欄に入力する。

※3) 代表材料規格以外の積算単価を算出する場合は規格変更した材料名を※3下欄にメモし材料価格を「積算地区(円)」欄に入力する。

※4) アスファルト混合物等、材料の実数入力がある場合は代表材料規格の標準数量に東京単価を乗じた額を「東京(円)」に、また設計の使用数量に積算地区単価を乗じた額を「積算地区(円)」に入力する。

※5) 材料を全て支給する場合は該当する欄に1を入力する。

P'(積算単価) = 1661.5 ×

$$\left\{ \left( \frac{1.81}{100} \times \frac{41100}{40100} + \frac{0.5}{100} \times \frac{11400}{11000} + \frac{0.5}{100} \times \frac{12400}{11900} \right) \times \frac{3.34}{1.81 + 0.5 + 0.5} \right.$$

$$+ \left( \frac{3.01}{100} \times \frac{18700}{19200} + \frac{1.72}{100} \times \frac{22200}{22000} + \frac{1.67}{100} \times \frac{22100}{21600} + \frac{0.6}{100} \times \frac{22400}{23300} \right) \times \frac{8.33}{3.01 + 1.72 + 1.67 + 0.6}$$

$$+ \left( \frac{85.57}{100} \times \frac{11500}{11300} + \frac{2.35}{100} \times \frac{91}{91} + \frac{0.35}{100} \times \frac{86.5}{107} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{88.33}{85.57 + 2.35 + 0.35 + 0}$$

$$+ \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{100}{100} - \frac{3.34}{100} - \frac{8.33}{100} - \frac{88.33}{100} - \frac{0}{100}$$

$$- \left( \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \} = 1687 \text{ 積算単価 (円/単位)}$$

- ・積算単価は、有効数字4桁とし、5桁目以降を切り上げる。
- ・支給品費が控除された積算単価 = 端数整理なしの積算単価 - 端数調整なしの支給品費 であり「支給品費が控除された積算単価」は、小数点第1位を切り上げる。
- ・「支給品費」は1,000円以上の場合、円未満切捨て。1,000円未満の場合は少数位を含め有効数字4桁切り捨て。ただし、少数第2位までとし、3位以下は切り捨てる。

施工パッケージ単価計算例

②条件区分に定めのない規格により積算する場合の計算例

青字で0が入力されているセルに数値を入力。

力。補正については※1～4参照。

標準単価： 1661.5 円

単価名称： 表層（車道・路肩部）舗装

1m当たり単価表

単価例：

条件区分： ① 平均厚さ：45～55mm 平均幅員：1.4m以上

② 材料：蜜粒度As20

③ 瀝青材料種類：タックコートPK-4

代表機劣材規格		構成比(%)	東京(円)	積算地区(円)	【機械経費の補正】※1							
K	代表機械規格	3.34			K	積算地区	割増率(%)					
	K1	1.81	40,100	41,100	K1							
	K2	0.50	11,000	11,400	K2							
	K3	0.50	11,900	12,400	K3							
R	代表労務規格	8.33			R	積算地区	割増率(%)					
	R1	3.01	19,200	18,700	R1							
	R2	1.72	22,000	22,200	R2							
	R3	1.67	21,600	22,100	R3							
	R4	0.60	23,300	22,400	R4							
Z	代表材料規格	88.33			Z	規格変更した材料名	標準数量	東京単価	使用数量	積算地区	支給品	
	Z1	85.57	11,300	10,300	Z1	再生蜜粒度As20						
	Z2	2.35	91	91	Z2							
	Z3	0.35	107	87	Z3							
	Z4	0.00	0	0	Z4							
S	市場単価	0.00	0	0	【材料規格の変更】※3		【材料の実数入力】※4		【支給品】※5			

- ※1, ※2) 経費の補正(豪雪割増、時間外の賃金割増等)をする場合は、補正前単価を「積算地区」欄に入力し割増した額を「積算地区(円)」欄に入力する。
- ※3) 代表材料規格以外の積算単価を算出する場合は規格変更した材料名を※3下欄にメモし材料価格を「積算地区(円)」欄に入力する。
- ※4) アスファルト混合物等、材料の実数入力がある場合は代表材料規格の標準数量に東京単価を乗じた額を「東京(円)」に、また設計の使用数量に積算地区単価を乗じた額を「積算地区(円)」に入力する。
- ※5) 材料を全て支給する場合は該当する欄に1を入力する。

P'(積算単価) = 1661.5 ×

$$\left\{ \left( \frac{1.81}{100} \times \frac{41100}{40100} + \frac{0.5}{100} \times \frac{11400}{11000} + \frac{0.5}{100} \times \frac{12400}{11900} \right) \times \frac{3.34}{1.81 + 0.5 + 0.5} \right.$$

$$+ \left( \frac{3.01}{100} \times \frac{18700}{19200} + \frac{1.72}{100} \times \frac{22200}{22000} + \frac{1.67}{100} \times \frac{22100}{21600} + \frac{0.6}{100} \times \frac{22400}{23300} \right) \times \frac{8.33}{3.01 + 1.72 + 1.67 + 0.6}$$

$$+ \left( \frac{85.57}{100} \times \frac{10300}{11300} + \frac{2.35}{100} \times \frac{91}{91} + \frac{0.35}{100} \times \frac{86.5}{107} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{88.33}{85.57 + 2.35 + 0.35 + 0}$$

$$+ \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{100}{100} - \frac{3.34}{100} - \frac{8.33}{100} - \frac{88.33}{100} - \frac{0}{100}$$

$$- \left( \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \} = 1536 \text{ 積算単価 (円/単位)}$$

- ・積算単価は、有効数字4桁とし、5桁目以降を切り上げる。
- ・支給品費が控除された積算単価 = 端数整理なしの積算単価 - 端数調整なしの支給品費 であり「支給品費が控除された積算単価」は、小数点第1位を切り上げる。
- ・「支給品費」は1,000円以上の場合、円未満切捨て。1,000円未満の場合は少数位を含め有効数字4桁切り捨て。ただし、少数第2位までとし、3位以下は切り捨てる。

施工パッケージ単価計算例

③条件区分に実数入力を行い積算する場合の計算例

青字で0が入力されているセルに数値を入力。

力。補正については※1～4参照。

標準単価： 1603 円

単価名称： 基層（歩道部）・中間層（歩道部）

表層（歩道部）1㎡当たり単価表

単価例：

条件区分： ① 平均厚さ：標準単価50積算70mm 平均幅員：1.4m以上

② 材料：蜜粒度As20（締固め後密度2.35t/m<sup>3</sup>）

③ 瀝青材料種類：タックコートPK-4

代表機劣材規格		構成比(%)	東京(円)	積算地区(円)	【機械経費の補正】※1		※1,※2 経費の補正（豪雪割増、時間外の賃金割増等）をする場合は、補正前単価を「積算地区」欄に入力し割増した額を「積算地区(円)」欄に入力する。					
K	代表機械規格	3.57			K	積算地区	割増率(%)					
	K1 アスファルトフィニッシャー幅2.4～6m	1.92	41,100	41,100	K1			※3) 代表材料規格以外の積算単価を算出する場合は規格変更した材料名を※3下欄にメモし材料価格を「積算地区(円)」欄に入力する。				
	K2 タイヤローラー質量8～20t	0.54	11,400	11,400	K2			※4) アスファルト混合物等、材料の実数入力がある場合は代表材料規格の標準数量に東京単価を乗じた額を「東京(円)」に、また設計の使用数量に積算地区単価を乗じた額を「積算地区(円)」に入力する。				
	K3 ロードローラー運転質量10～12t	0.54	12,400	12,400	K3			※5) 材料を全て支給する場合は該当する欄に1を入力する。				
R	代表労務規格	8.88			R	積算地区	割増率(%)					
	R1 普通作業員	3.22	19,800	18,900	R1			【労務費の補正】※2				
	R2 特殊作業員	1.84	22,700	22,100	R2							
	R3 運転手（特殊）	1.79	22,300	21,700	R3							
	R4 土木一般世話役	0.61	23,000	23,300	R4							
Z	代表材料規格	87.55			Z	規格変更した材料名	標準数量	東京単価	使用数量	積算地区	支給品	
	Z1 アスファルト混合物 蜜粒度AS混合物（20）	84.76	540,000	756,000	Z1		50.00	10800	70.00	10800		
	Z2 アスファルト乳剤PK-4 タックコート用	2.44	91	89	Z2							
	Z3 軽油 1.2号 パトロール給油	0.30	89	101	Z3							
	Z4 -	0.00	0	0	Z4							
S	市場単価	0.00	0	0	【材料規格の変更】※3		【材料の実数入力】※4		【支給品】※5			

P'(積算単価) = 1603 ×

$$\left\{ \left( \frac{1.92}{100} \times \frac{41100}{41100} + \frac{0.54}{100} \times \frac{11400}{11400} + \frac{0.54}{100} \times \frac{12400}{12400} \right) \times \frac{3.57}{1.92 + 0.54 + 0.54} \right.$$

$$+ \left( \frac{3.22}{100} \times \frac{18900}{19800} + \frac{1.84}{100} \times \frac{22100}{22700} + \frac{1.79}{100} \times \frac{21700}{22300} + \frac{0.61}{100} \times \frac{23300}{23000} \right) \times \frac{8.88}{3.22 + 1.84 + 1.79 + 0.61}$$

$$+ \left( \frac{84.76}{100} \times \frac{756000}{540000} + \frac{2.44}{100} \times \frac{89}{91} + \frac{0.3}{100} \times \frac{101}{89} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{87.55}{84.76 + 2.44 + 0.3 + 0}$$

$$+ \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{100}{100} - \frac{3.57}{100} - \frac{8.88}{100} - \frac{87.55}{100} - \frac{0}{100}$$

$$- \left( \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \} = 2143 \text{ 積算単価 (円/単位)}$$

・積算単価は、有効数字4桁とし、5桁目以降を切り上げる。

・支給品費が控除された積算単価 = 端数整理なしの積算単価 - 端数調整なしの支給品費 であり「支給品費が控除された積算単価」は、小数点第1位を切り上げる。

・「支給品費」は1,000円以上の場合、円未満切捨て。1,000円未満の場合は少数位含め有効数字4桁切り捨て。ただし、少数第2位までとし、3位以下は切り捨てる。

施工パッケージ単価計算例

④時間外割増賃金や豪雪補正等の補正を行う場合の計算例

青字で0が入力されているセルに数値を入力。

力。補正については※1～4参照。

標準単価： 1661.5 円

単価名称： 表層（車道・路肩部）舗装

1m当たり単価表

単価： \_\_\_\_\_

条件区分： ① 平均厚さ：45～55mm 平均幅員：1.4m以上

② 材料：蜜粒度As20

③ 瀝青材料種類：タックコートPK-4

代表機劣材規格		構成比(%)	東京(円)	積算地区(円)	【機械経費の補正】※1								
K	代表機械規格	3.34			K	積算地区	割増率(%)	※1, ※2 経費の補正（豪雪割増、時間外の賃金割増等）をする場合は、補正前単価を「積算地区」欄に入力し割増した額を「積算地区(円)」欄に入力する。 ※3 代表材料規格以外の積算単価を算出する場合は規格変更した材料名を※3下欄にメモし材料価格を「積算地区(円)」欄に入力する。 ※4 アスファルト混合物等、材料の実数入力がある場合は代表材料規格の標準数量に東京単価を乗じた額を「東京(円)」に、また設計の使用数量に積算地区単価を乗じた額を「積算地区(円)」に入力する。 ※5 材料を全て支給する場合は該当する欄に1を入力する。					
	K1	アスファルトフィニッシャー幅2.4～6m	1.81	40,100	41,100	K1							
	K2	タイヤローラー質量8～20t	0.50	11,000	11,400	K2							
	K3	ロードローラー運転質量10～12t	0.50	11,900	12,400	K3							
R	代表労務規格	8.33			R	積算地区	割増率(%)	【労務費の補正】※2					
	R1	普通作業員	3.01	19,200	22,440	R1	18700						20%
	R2	特殊作業員	1.72	22,000	26,640	R2	22200						20%
	R3	運転手（特殊）	1.67	21,600	26,520	R3	22100						20%
	R4	土木一般世話役	0.60	23,300	26,880	R4	22400						20%
Z	代表材料規格	88.33			Z	規格変更した材料名	標準数量	東京単価	使用数量	積算地区	支給品		
	Z1	アスファルト混合物 蜜粒度AS混合物（20）	85.57	11,300	11,500	Z1							
	Z2	アスファルト乳剤PK-4 タックコート用	2.35	91	91	Z2							
	Z3	軽油 1.2号 パトロール給油	0.35	107	87	Z3							
	Z4	-	0.00	0	0	Z4							
S	市場単価	0.00	0	0	【材料規格の変更】※3		【材料の実数入力】※4		【支給品】※5				

P'(積算単価) = 1661.5 ×

$$\left\{ \left( \frac{1.81}{100} \times \frac{41100}{40100} + \frac{0.5}{100} \times \frac{11400}{11000} + \frac{0.5}{100} \times \frac{12400}{11900} \right) \times \frac{3.34}{1.81 + 0.5 + 0.5} \right.$$

$$+ \left( \frac{3.01}{100} \times \frac{22440}{19200} + \frac{1.72}{100} \times \frac{26640}{22000} + \frac{1.67}{100} \times \frac{26520}{21600} + \frac{0.6}{100} \times \frac{26880}{23300} \right) \times \frac{8.33}{3.01 + 1.72 + 1.67 + 0.6}$$

$$+ \left( \frac{85.57}{100} \times \frac{11500}{11300} + \frac{2.35}{100} \times \frac{91}{91} + \frac{0.35}{100} \times \frac{86.5}{107} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{88.33}{85.57 + 2.35 + 0.35 + 0}$$

$$+ \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{100}{100} - \frac{3.34}{100} - \frac{8.33}{100} - \frac{88.33}{100} - \frac{0}{100}$$

$$- \left( \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \} = 1714 \text{ 積算単価 (円/単位)}$$

・積算単価は、有効数字4桁とし、5桁目以降を切り上げる。

・支給品費が控除された積算単価 = 端数整理なしの積算単価 - 端数調整なしの支給品費 であり「支給品費が控除された積算単価」は、小数点第1位を切り上げる。

・「支給品費」は1,000円以上の場合、円未満切捨て。1,000円未満の場合は少数位含め有効数字4桁切り捨て。ただし、少数第2位までとし、3位以下は切り捨てる。

施工パッケージ単価計算例

⑤支給品がある場合の計算例

青字で0が入力されているセルに数値を入力。

力。補正については※1～4参照。

標準単価： 1661.5 円

単価名称： 表層（車道・路肩部）舗装

1m当たり単価表

単価例：

条件区分： ① 平均厚さ：45～55mm 平均幅員：1.4m以上

② 材料：蜜粒度As20

③ 瀝青材料種類：タックコートPK-4

代表機劣材規格		構成比(%)	東京(円)	積算地区(円)	【機械経費の補正】※1							
K	代表機械規格	3.34			K	積算地区	割増率(%)	※1, ※2 経費の補正（豪雪割増、時間外の賃金割増等）をする場合は、補正前単価を「積算地区」欄に入力し割増した額を「積算地区(円)」欄に入力する。 ※3 代表材料規格以外の積算単価を算出する場合は規格変更した材料名を※3下欄にメモし材料価格を「積算地区(円)」欄に入力する。 ※4 アスファルト混合物等、材料の実数入力がある場合は代表材料規格の標準数量に東京単価を乗じた額を「東京(円)」に、また設計の使用数量に積算地区単価を乗じた額を「積算地区(円)」に入力する。 ※5 材料を全て支給する場合は該当する欄に1を入力する。				
	K1	1.81	40,100	41,100	K1							
	K2	0.50	11,000	11,400	K2							
	K3	0.50	11,900	12,400	K3							
R	代表労務規格	8.33			R	積算地区	割増率(%)	【労務費の補正】※2				
	R1	3.01	19,200	18,700	R1							
	R2	1.72	22,000	22,200	R2							
	R3	1.67	21,600	22,100	R3							
	R4	0.60	23,300	22,400	R4							
Z	代表材料規格	88.33			Z	規格変更した材料名	標準数量	東京単価	使用数量	積算地区	支給品	
	Z1	85.57	11,300	10,300	Z1						1	
	Z2	2.35	91	91	Z2							
	Z3	0.35	107	87	Z3							
	Z4	0.00	0	0	Z4							
S	市場単価	0.00	0	0	【材料規格の変更】※3		【材料の実数入力】※4		【支給品】※5			

P'(積算単価) = 1661.5 ×

$$\left\{ \left( \frac{1.81}{100} \times \frac{41100}{40100} + \frac{0.5}{100} \times \frac{11400}{11000} + \frac{0.5}{100} \times \frac{12400}{11900} \right) \times \frac{3.34}{1.81 + 0.5 + 0.5} \right.$$

$$+ \left( \frac{3.01}{100} \times \frac{18700}{19200} + \frac{1.72}{100} \times \frac{22200}{22000} + \frac{1.67}{100} \times \frac{22100}{21600} + \frac{0.6}{100} \times \frac{22400}{23300} \right) \times \frac{8.33}{3.01 + 1.72 + 1.67 + 0.6}$$

$$+ \left( \frac{85.57}{100} \times \frac{10300}{11300} + \frac{2.35}{100} \times \frac{91}{91} + \frac{0.35}{100} \times \frac{86.5}{107} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{88.33}{85.57 + 2.35 + 0.35 + 0}$$

$$+ \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{100}{100} - \frac{3.34}{100} - \frac{8.33}{100} - \frac{88.33}{100} - \frac{0}{100}$$

$$- \left( \frac{85.57}{100} \times \frac{10300}{11300} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \} = 240 \text{ 積算単価 (円/単位)}$$

・積算単価は、有効数字4桁とし、5桁目以降を切り上げる。

・支給品費が控除された積算単価 = 端数整理なしの積算単価 - 端数調整なしの支給品費 であり「支給品費が控除された積算単価」は、小数点第1位を切り上げる。

・「支給品費」は1,000円以上の場合、円未満切捨て。1,000円未満の場合は少数位含め有効数字4桁切り捨て。ただし、少数第2位までとし、3位以下は切り捨てる。